

(続紙 1)

京都大学	博士 (地域研究)	氏名	小西 鉄
論文題目	ポストスハルト期インドネシアにおけるビジネス-政治関係のダイナミクス -1997-2012年のバクリグループの経済権力の維持と政治的台頭に関する分析 -		
(論文内容の要旨)			
<p>本論文は、インドネシア有数のビジネス・グループであるバクリグループが1998年のアジア通貨危機と2008年の債務危機にいかにして対処し、どのようにそれを乗り切ったのか、その過程を明らかにしている。バクリファミリーが支配するバクリグループは、寡頭制の代表的アクターとされながら、その研究は少ない。しかも、同グループを扱う先行研究では、初代バクリの長男アブリザルの政治権力にばかり焦点が当てられてきた。それに対して、本論文は、バクリグループの持つプロフェッショナル経営陣と経営手法に着目している。</p> <p>第1章ではこれまでのインドネシアの政治経済学的研究と企業研究を振り返り、プリブミ系ビジネス・グループについての先行研究不足とポストスハルト期のビジネス・グループ内部に踏み込んだ先行研究不足を指摘し、その上で、政治経済的に極めて重要なアクターであるバクリグループ研究の必要性を指摘している。</p> <p>第2章では、1942年から2012年までのバクリグループの企業史に着目している。同グループは、政治的コネクションやプロフェッショナル経営陣の登用などにより、2011年には資産規模で国内民間企業第2位を誇るほどの大企業グループに成長したとする。</p> <p>第3章では1998年の債務危機とその後の企業ガバナンス改革へのバクリグループの対応を明らかにしている。アブリザルの政治的コネクションを通じた危機克服に失敗して、バクリファミリーによる所有と経営支配に終止符が打たれるかに思われたが、レポ取引・ストック・ローン契約といった金融上の仕組みを導入する、あるいはガバナンス改革への対応を形式面にとどめるなどして、バクリファミリーがグループの所有と経営を実質的に維持してきたことを、その詳細な過程を記述することで明らかにしている。</p> <p>第4章では、民主化時代のバクリグループの成長要因を明らかにしている。アブリザルはユドヨノ政権で要職に就いてバクリグループの事業拡大に成功しただけでなく、本来はグループ会社の操業が原因ともいえるべき災害に対して、国家補償を引き出すことに成功する。経営の面ではプロフェッショナル経営陣を登用して経営体制を刷新するとともに、海外からの資金調達とグループ再編を進めた。事業面では需要が急拡大している石炭重視戦略を打ち立てることで大幅な利潤獲得に成功した。このような複数の要素を明らかにしている。</p> <p>第5章では、バクリファミリーが所有と経営を維持して2008年の世界金融危機を克服できた要因を明らかにしている。世界金融危機による石炭価格の急落はバクリグループの株価暴落を引き起こした。アブリザルは政治介入により株価下落阻止を試みるが失敗に終わり、ファミリーは資産売却を進めた。しかし、これは1998年危機の時と同様にレポ取引を仕組みに入れた見かけ上の売却であり、後に所有の回復に成功した。更に、プロフェッショナル経営陣の戦略により石炭子会社の資金調達を国際市場から行うことに成功する。国際市場の英国のパートナー (ロスチャイルド資本) とは、後には次男ニルワンが経営手腕を発揮して関係を清算し、石炭子会社の経営権を再び掌握することに成功した。</p> <p>第6章では、長男アブリザルがいかにしてビジネス界で影響力拡大に成功してきたのかを明らかにしている。彼はスハルト権威主義体制後半にインドネシア商工会議所会頭に就任してその運営に対する強い影響力を獲得した。政界進出のため、会頭を退任後もビジネス・パートナーを商工会議所の要職につけて支配し続けた。また、ビジネス・パートナーとのネットワークを深めることでビジネス界での影響力の保持にも成功した。</p>			

第7章では、長男アブリザルによるビジネス・ネットワークを使った有力政党ゴルカル党支配の態様を描いている。アブリザルは2004年以降、資金力を武器としてゴルカル党内で台頭して、同党から閣僚になるだけでなく、2009年には同党党首に就任する。アブリザルは、その政治的影響力により国家プロジェクトを獲得するなど、バクリグループの事業を拡大させていった。

終章では、バクリグループは、アブリザルの政治権力を通じて事業の拡大に成功した面はあるが、1998年や2008年の債務危機にあっては、こうした政治権力の行使ではなく、同グループのもつプロフェッショナル経営陣や経営手法が有効だったと結論づけた。そして、アブリザルの政治的影響力が弱体化するなか、こうしたプロフェッショナル経営陣による経営戦略がバクリグループの成長戦略になる可能性を示唆した。